

Advance

#自分と相手 常にまわりを見つつ 笑いのあるコミュニケーションを

春先は、少し緊張した表情をしていましたが、今では互いに心を許し合い、何でも言い合える、温かい雰囲気できてきたように感じます。これは本当に素晴らしいことです。

ただ、最近その“なごやかさ”の中に、少し気になる言動が見られることがあります。

たとえば、誰かをバカにして笑いをとるような場面、相手が傷つくような言葉を冗談まじりに口にしていないでしょうか？何気なく誰かの方を見てコソコソ話をしたことはないですか？

不思議なことに、そうした言動をする人ほど、自分が同じことをされると怒ったり傷ついたりすることがよくあります。でも、それっておかしいですね。自分がされて嫌なことは、他の人にもしない方がお互いに気持ちよく過ごせるはずです。

「自分がされて嫌なことをしない」

これは、相手の気持ちを思いやる心をもっているかどうか、ということです。“思いやり”がある人は、自然とまわりに目を向け、相手の立場を想像することができます。一方、自分のことばかりを考えていると、まわりが見えずに、同じような言動を繰り返してしまいます。

話し方が上手だな、面白いなと感じる人は、たいてい周囲をよく見て、聞いている人の気持ちに配慮した話し方ができる人です。私も、そんな温かい話し方のできる人になりたいなど、いつも思っています。

落語家の立川志の輔さんは、こんな言葉を残しています。

ユーモアを言動の中に入れていくためには、相手のことを常に思いやらねばならない。たとえ10人中9人が笑っても、ひとりが傷つけば、それはユーモアとは言えない。

自分と相手、常にまわりを見つつ、笑いのあるコミュニケーションがとれる、そんな毎日を送ってほしい。

参考：立川志の輔（立川流真打、最近「龍角散」のCM、少し前はNHKテレビ「ガッテン！」司会者として有名）

本当にその通りですよ。誰かをバカにして笑いを取ることは、決して“ユーモア”ではありません。たとえ相手が何も言わなくても、それは「笑いを受け入れている」のではなく、もしかすると我慢しているだけかもしれないのです。

だからこそ、「自分がされて嫌なことは、人にもしない」このシンプルなルールを、周りに伝えるだけでなく、私自身も日々心に留めておきたいと思います。

最近よく見かける、その場限りの“ノリの笑い”ではなく誰かの心をほっとあたためるような本当のユーモアを大切にしていきたいですね。そして、そんな優しさにあふれた SOLANであり続けたいと、心から願っています。

We will value "Purpose" and "Ownership" for you

Advance

交流の機会を大切に



名古屋大VR
かえつ有明中高
瀬戸市議会



We will value "Purpose" and "Ownership" for you